

(1) まちづくりに関する方針

計画名称	養老地区まちづくり計画
<p>目標・テーマ</p>	<p>～自然や歴史・文化と調和した、いつまでも仲良く、安心して暮らし続けられるまち 養老～</p> <p>養老地区は、歴史・文化資源、田園風景や河川などの自然に恵まれた地区です。加古川の市街地に近接し、落ち着いた住環境が形成されていることから暮らしやすく、地区内に県道が通っているため便利な生活環境でもあります。こうした中で、暖かみのある住民同士のつながりが形成されてきました。また、養老天満宮や宝篋印塔など貴重な文化財が多数あり、民話伝承「芝の天神さん」も含めて大切に継承されてきました。</p> <p>将来に渡って、歴史・文化や自然環境と調和したまちをつくとともに、いつまでも仲良く、安心して暮らし続けられる養老のまちづくりを進めていきます。</p>
<p>過去最大人口</p>	<p>528人（昭和50年以降でピークとなる昭和56年の人口）</p> <p>（参考）528人（S56年）－327人（令和6年）＝201人</p>

項目	まちづくり方針	
<p>1. 集落環境の保全に関する事項</p>	<p>建物の高さについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10m（3階）以下とする。
	<p>汚水対策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道区域は公共下水道へ接続し、その他の区域は合併処理浄化槽で適切に処理する。 ・生活環境や農業環境への影響を防止し、周辺との調和を図る。
<p>2. 集落景観の保全・形成</p>	<p>地区景観計画（基準）の指定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の形態・意匠は、周辺の風景や集落の景観と調和するものとする。 ・屋根は、勾配屋根を推奨する。 ・屋根や外壁には派手な色彩を使わず、田園風景に調和した落ち着いた色調のものとする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>（色彩の基準：マンセル表色系）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色相Y・R・R系は彩度6以下、Y系は彩度4以下、その他は彩度2以下、色相Nは認める。 ・土、木、レンガ等の自然系素材を用いる場合及びそれに類似の材料等は、この限りではない。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・土地に太陽光発電施設を設置する場合は、周辺環境との調和に配慮する。

項目	まちづくり方針	
3.公共施設の整備を図る取組み	道路、公園・広場、排水施設、水路等の整備について	<ul style="list-style-type: none"> • 県道等における歩行者の安全確保が図られるよう県等に要望する。 • 町内の生活道路については、空き地化や建て替え等の機会を捉えて順次改良（隅切り設置、離合帯設置、グレーチング設置等）を検討する。 • 市道（2項道路）については、有効幅員 4m を確保するため、「狭あい道路の整備に関する協定書」等に基づき、中心線から 2.17m のセットバックを行い、建て替え等に併せて順次拡幅を進めることを目標とする。 • 子どもが安心して外遊びができる広場整備（遊具の改善、見守り確保など）を検討する。 • 水路の維持管理を図る。
4.その他の施設の整備を図る取組み	<ul style="list-style-type: none"> • 東養老公民館、西養老公民館を交流の場として活用する。 • 集落に近い県道沿道においては、生活利便施設等の立地を誘導する。 • 児童施設、団体と協力して子どもたちを心豊かに育む取り組みをすすめる。 • 田園らしい風景の保全に向けて、検討する（放棄田対策、太陽光発電施設対策等）。 • 農地を活かした交流を図るため、耕作放棄地の活用等を検討する。 	
5.安全安心対策	<ul style="list-style-type: none"> • 通学路の見守り活動に取り組む。 • 水路のフタ掛けや転落防止柵の設置など事故防止対策について検討する。 • 空き地や空き家の適正な管理を促す。 • 地域の防災力を高めるため、浸水被害への備え（両荘みらい学園等への避難訓練や避難経路の確認など）や、防災に関する勉強会に参加することについて検討する。 • 防犯カメラの設置について検討する。 	
6.歴史を活かす取組み	<ul style="list-style-type: none"> • 養老天満宮、宝篋印塔、石棺の身などまちに残る歴史的資源について保存・活用に取り組むとともに、地域の魅力要素として広く PR する。 • 祭りや伝統行事、民話伝承「芝の天神さん」などを次世代に継承する。 	
7.自然を活かす取組み	<ul style="list-style-type: none"> • 自然資源を活用し、ふれあいの場や機会を創出する（河川敷での桜まつりなど）。 • 田園風景や河川などが一体となった自然を楽しみ、心身の健康にもよい場や機会を創出する。 • 加古川河川敷の自然環境・景観を保全し将来に継承していけるよう、愛着の醸成や意識啓発をすすめる。 	

(2) 土地利用構想

ゾーン区分		整備イメージ
保全ゾーン	農業保全ゾーン	農振農用地区域などの今後とも農地を保全していくゾーン
開発許容ゾーン	農住共存ゾーン	集落と農地が調和・共存する環境を維持するゾーン
	住工共存ゾーン	既存事業所の継続と集落環境との調和を図るゾーン